

“Unlock the future with the power of light” ニコンの社会への貢献と人材育成**“Unlock the future with the power of light” Nikon’s contribution to society and human resource development****株式会社 ニコン サステナビリティ戦略部 山田由香子****Nikon Corporation, Corporate Sustainability Department Yukako Yamada**E-mail: Yukako.Yamada@nikon.com

【はじめに】ニコングループは、企業理念である「信頼と創造」を事業活動の中で具現化することで、持続可能な社会への貢献と自社の持続的成長の双方を目指している。企業の社会的責任を果たしステークホルダーからの“信頼”を得ると同時に、ニコンならではの製品・サービスを“創造”し、環境・社会課題の解決やSDGs達成に貢献すること、それがニコンの目指すサステナビリティである。社会の変化を敏感に感じ取り、サステナブルな社会であるために、そして、その新しい社会の中でお客様がどのようなものを求めているのか想いをめぐらす。このように、お客様に寄り添いながら、将来の社会で求められる製品やサービスを創造、実現していく力を持った人材が不可欠である。この様な人材の確保・育成は、サステナブルな事業運営のための重要なテーマであり、事例を用いて当社の取り組みを紹介する。

【事業を通じた貢献】現在、事業所からの温室効果ガス削減や事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー化など、環境負荷の少ないモノづくりを推進すると共に、事業を通じ、豊かな未来への貢献に取り組んでいる。経営ビジョンである Unlock the future with the power of light の通り、当社は「光」を利用した技術や精密技術を活用し、主要事業である映像事業、精機事業のみならず、成長領域でも多様な製品やサービスを生み出している。そして、サステナブルな社会のため、「ものづくりのプロセスを革新」「画像・センシング技術で快適な社会へ貢献」「人々の健康とクオリティ・オブ・ライフに貢献」の3つのテーマを掲げ、ニコンならではの価値を社会へ届けることを目指す。例えば、「ものづくりプロセスの革新」においては、長期成長領域の一つと位置付ける「デジタルマニュファクチャリング(材料加工ビジネス)」分野で、エネルギー効率の向上やCO2削減が期待できる技術が事業化に向けて進んでいる。このようなイノベーションの源は人材である。人材育成への取り組みの一つが、広い視野を持った創造性豊かな技術者育成のための「ニコン技術カレッジ」という研修制度である。専門分野の知識のみならず、技術者として身につけて欲しいスキルや倫理観の習得を目的とする。また、光学エンジニアやシステム設計など、光学系職種に携わる技術系社員には、個別研修を実施し、その専門性の取得と向上を図っている。

【おわりに】当社では、「事業」「環境」「社会・労働」「ガバナンス」の4分野に対し重点課題を特定し、それぞれの課題に対し「取り組むべきこと」と「2030年度目標(めざす姿)」を掲げている。それらに沿いながら、2030年を期限とするSDGsの達成に貢献出来るよう、また、さらに将来のより良い社会に向け、感度の高い従業員と共に、サステナビリティ活動を推進していく。